

日本語各種テキストの文体と語彙 —翻訳技術入門Ⅰの授業から—

リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科

重盛千香子

1. はじめに

「翻訳技術入門Ⅰ」は、本学科日本研究専攻の3年次学生を対象とする必修科目である。前半は日本語からスロベニア語の翻訳技術の入門で、スロベニア人スタッフが担当。後半はスロベニア語から日本語の翻訳で、筆者が本年度の夏学期にこれを初めて担当した。筆者担当の授業時間数は週一回2コマ(90分)、実質的に計13回(26コマ)であった。以下、この授業の報告とする。

2. 授業の構想と目標設定

学生はこれまで、主に教科書を中心に日本語の初級・中級の基礎文法を学んできたので、まだ一般の日本語の文章に慣れていないとは言えない。スロベニア語から日本語への翻訳技術を身に付ける上で、まずなるべく多くの生の日本語テキストに接してほしいと考えた。いろいろな種類の日本語の文章に触れ、文体や語彙、そして書面として完成した形の日本語テキストのバラエティーを見ることにより、与えられたスロベニア語テキストをそれに対応した文体、語彙、形態の日本語テキストに訳すための知識を身につけることができると考えたからである。日本語の各種テキストは、学生が分担して自習活動として探し出し、それを分析した結果を発表することにした。発表には授業時間全体の約半分強を当てた。

3. 発表に向けての自習活動

出発点として、外国人用スロベニア語教科書2冊(中級) Učimo se slovenščino II (1995), Učimo se slovenščino III (1994) から、次のような本文テキスト(計23課)を選び出して学生に提示、次頁枠内のような自習活動を行わせた。

- 1) 家族について(アンケート)
- 2) 学校(読者相談)
- 3) ファッション(インタビュー)
- 4) 就職(新聞募集広告)
- 5) 余暇(ラジオ番組)
- 6) 交通事故(新聞三面記事)
- 7) 健康(医者との会話)
- 8) 過去と現在(環境問題エッセイ)
- 9) 賛成、反対(話し合い)
- 10) スロベニアの女性は子供好きか?(インタビュー)
- 11) 世界の出来事(ラジオのニュース)
- 12) リュブリャーナの町を歩く(旅行者用情報)
- 13) 売り家、貸家、家庭教師(募集広告)
- 14) 歯の正しい磨き方・歯磨き(歯磨き粉の表示)
- 15) 11歳のいたずら(新聞コラム)
- 16) スロベニアの祝日(説明文)
- 17) 行事と風習(新聞記事)
- 18) 日曜大工(器用な人のためのヒント)
- 19) くるみのケーキ(料理)
- 20) ドレンスカの温泉療養地紹介(観光案内)
- 21) 落書き(新聞土曜版記事)
- 22) ポートレートと性格(星座占い)

23) スロベニア人とスポーツ (説明文)

1. 自分が受け持つテキストと同じ種類の日本語のテキストを探してください。図書室、研究室(06号室)、日本人の知人、友人、インターネットなどを利用するといいでしょう。そのテキストのコピーを用意してください。
2. 見つけた日本語のテキストの特徴は何でしょうか。語彙、文体、レイアウトの分析をしてください。スロベニア語でもいいですから、その分析のレポートを書いてください。
3. もとのスロベニア語のテキストのキーワード(1語か2語)を選んで、その言葉を出発点として、語彙マップを作ってください。

授業に参加した41人中34人が課題に取組み、テキスト23種のうち18種を1~2人ずつ受け持った。テキスト分析レポート(語彙マップつき)を提出した学生を順に個人指導の後、担当した日本語テキストとスロベニア語の語彙マップを元にした日本語の語彙リストを作らせ、順番に発表してもらった。発表には日本語のテキスト(クラス全体で見ることのできるOHP)と語彙リスト(クラスで参加者全員に配るためのコピー)を用意させた。

4. 発表の内容と成果

準備のできた学生から順番に、一人当たり約15~20分の授業時間を使って、発表とその内容に関する質問、討論、教師側からの補足説明を行った。学生が用意した日本語テキストの種類は多岐に渡り、ひとりではなかなか集められないようなバラエティーに富んだものだった。ほとんどの学生が、出発点として与えられたスロベニア語のテキストの内容と形態をよく見極め、その両者の特徴とする日本語テキストを探し出すことに成功していた。日本語学習者用の図書(日本語ジャーナル、日本事情シリーズ)から探し出したテキストの場合は、普通の日本語テキストには見られないふりがな表記や文体の違いが若干見られたが、これらの点は授業中のそれぞれの発表の時間に注意点として補足した。学生が用意した日本語テキストの種類は次のとおりである。

- 新聞** 衝突事故 [www.asahi.com]、飲酒運転 [日経]、傷害致死罪 [日経]、誘拐事件 [日経]、スキージャンプ [朝日]、広告欄(ベビーシッター [朝日]、家庭教師募集 [朝日]、不動産 [朝日折り込み])
- 雑誌** 初春を祝う(出初め式、とんどさん) [家庭画報]、なべ焼きうどん、病院と薬、神田祭り [日本語ジャーナル]、高田賢三×安藤優子 [週刊朝日]、太っている悩み [ノンノ]、中田英寿(Jリーグ) [スポーツグラフィック]、野沢温泉 [信州]、新刊案内 [プレジデント]
- 本** だら焼き [講談社インターナショナル・バイリンガル]、銀座、皇居とその周辺 [日本事情シリーズ・東京]、傷と止血 [救急法講習教本]
- インターネット** NHKニュース [www.nhk.or.jp]、東京落書きツアー、トイレ落書き [www.asahi-net.or.jp]、星座(蟹座、乙女座) [szeus.co.jp]、家族会議 [asahi.com]、口腔衛生学講座 [www.aichi-gakuin.ac.jp]、レンブラント薬用歯磨き [oralcare/2/index.html]、求人案内 [www.tengyu sakai-shoten.co.jp/rinji.html]
- ラジオ放送録音カセット** 週末のイベント紹介 [J-wave]

それぞれの日本語テキストの分析に関しては、教師側が今まで見落としていた点、つまり、非母語話者であるからこそ気がつく点の指摘もあり、発表に続く質問や討論も活発に行われた。以下、語彙、文体、テキストの形態の順で、主にどのような特徴が明らかになったかを述べる。

4.1. 語彙

発表者がそれぞれA4に1~2枚程度の語彙表(資料参照)を作成し、各種内容のテキストに特徴的に現われる用語を紹介した。単純にリストしたもの、語彙マップの形態で作成したもの、体の部分

や料理器具を示す図入りのもの、意味領域ごとに括ったものなど、意欲的に取り組んでいた。網羅できたとは言えないが、このレベルの学習者には新しい言葉や表現が多く、ためになったと思う。

人材募集広告や不動産広告では略語や記号などが目立ち、なかには辞書などに載っていないものもみられた。(不可、必着、～宛、学卒、全支/全給 [全額支給]、保 [保母]、看 [看護婦]、・ [と]、～ [から]、- [の]、※ [注記]、LDK など) 不動産広告には日本特有の面積単位 (坪、畳) が使われている。また、新聞スポーツ記事では印刷スペースを節約するための単位の表記の仕方 (キ、斤 など) も観察された。スポーツ記事と三面記事では、人物の年齢をカッコに括って示すが、これも学習者には目新しかった。事件報道記事では、接辞一署 (奈良署) などの説明も必要である。インターネットや雑誌の悩み相談などでは、通常平仮名や漢字で書くものを片仮名表記していることが指摘された。(ケンカする、ハイ、イエ) また、料理教室の材料提示部分の片仮名書きや単位も特徴的である。(生フ [生麩]、シイタケ、コマツナ、ユズ、一玉、一束)

4.2. 文体

婦人雑誌、観光案内、読者相談、インタビューなどに使われる丁寧体 (デス、マス体) に対して、新聞報道記事、専門的説明文などには普通体 (ダ体、ときにはデアル体) が観察された。特に紙面の幅に制約のある新聞報道、また、臨場感の効果を狙うスポーツ関係の文では、体言止めが頻りに観察された。新聞の見出しにおける助詞の省略も特徴的である。祭りなどの行事の紹介には様態の説明に受け身構文がよく使われることも観察された。

印刷される話し言葉、またはラジオなどのセミフォーマルな話し言葉の丁寧体に特徴的なのは、前に述べた体言止めとともに「～ています」など、述語部分の短縮だった。雑誌のインタビュー記事では、やり取りしている人物の年齢や性別、話題になっている事柄その他の範疇により、敬語、丁寧体、普通体、などのおり混ざった文体が見られ、これも学習者にとって新鮮であった。

また、学生も大変興味をもって観察したのは敬語のさまざまな形態である。今までの学習では、敬語は普通の言い方より長く、冗長な文章になるという印象を持っていたが、短くても丁寧さが現われる表現法があることを学んだ。(「お求めはXXまで。」など) 歯の磨き方の説明文では、初級に学ぶ「～てください」という言い方とともに、「～が大切です」などの構文で丁寧な命令の効果を出すことを知った。

観光地の紹介記事では、話者の希望を述べる機能があるとして学んだ「～たい。」が、「～することができます。～するといいでしょう。」の意味で使われることを見た。(朝早く起きて辺りを散策したい。)

また、星座占いでは、ある星座の人の性格を述べる部分とその人の今年の運勢を占う部分では、それぞれ違った構文が使われる傾向にあることを見た。(あなたは～という資質があります。～はです。～のです。/ 今年は～しそうです。～かも知れません。～でしょう。)

料理法の文章では、スロヴェニア語では動詞が一人称複数形で使われるのに対し、日本語では辞書形を使うのが普通であることも確認した。

4.3. テキストの形態

募集広告などで一貫して見られたのが日本語とスロヴェニア語 (ヨーロッパ諸言語) とでのデータ提出順の違いである。日本語では、探している人の仕事、年齢、給与などの情報が先で、探し主 (会社名、連絡先) などが最後に書かれているが、スロヴェニア語では「誰が」探しているかが先に提示され、その後に職種、条件などが書かれている。そのほかにも、もっと基本的な学習事項として、データは日本語ではすべて大きいものから小さいものへという順番で書かれることも確認した。(年一月一日/都市名一町一番地/姓一名/会社名一部署名一役職など)

新聞や本などでは、縦書きなり横書きなりを一貫して使っているものが多いが、特に雑誌では縦書きと横書きが同ページに使われているもの (特に本文は縦書きだが写真説明は横書きなど)、さらには色分け、字体や字の大きさなどによって見やすい紙面を作る工夫がされていることなどにも言及した。

5. 授業時間内のその他の活動

上に述べた各種テキストの調査がこの授業の大きな部分を占めたが、その他にも次のような活動を行った。

5.1. 片仮名の正書法

片仮名はすでに1年次に学習済みだが、さまざまな人名、地名、外来語を片仮名で正しく表記できるように練習した。スロヴェニアの場合は、まだ日本の社会ではあまり知られておらず、スロヴェニア語の固有名詞が日本語の辞書、事典類に載っていないことが多い。これから日本語にも定着するであろうこれらの固有名詞を、スロヴェニア人の日本語使用者たちが正しく表記することの大切さを考えた。

5.2. スロベニア語から日本語の翻訳練習（宿題と答え合わせ）

今学期の場合は、菓子袋、マクドナルドのクーポン券、インスタントスープの調理法、雑誌や新聞の短い記事など計5種を教師が選び、その日本語訳を宿題とした。これらの宿題は次の授業で答え合わせをしながら、細かい文法、用語などについて話し合った。これは後で述べる学期末の筆記テストの準備の意味もあった。

5.3. 辞書・参考書の選び方と使い方

実際に短い報道記事や情報パンフレットなどを日本語に翻訳する過程で、適切な辞書を使っているか、また、どんな種類の辞書や参考書をどのように使うことができるかを話し合った。参考書には、地図、『現代用語の基礎知識』のような刊行物、各種専門領域の書物などが含まれる。

5.4. 人名、地名の読み方

日本語の各種テキストの分析の場面では、日本語の固有名詞の読み方が難しかった。よくある固有名詞（長谷川、服部などの姓、八幡、国分寺などの地名）を指摘するとともに、地名・人名辞典、読み方書き方辞典などの存在にも触れた。

6. 評価

この授業の全体評価は、発表と筆記テスト（スロヴェニア語から日本語への短いテキストの翻訳）を合わせて行った。筆記テストには、授業で得た資料（ノート、語彙リスト）や辞書はすべて持ち込みで行った。

7. これからの課題

筆記テストの対象になりうるテキストの種類はとても多いので、授業で扱ったテキストに近いものを出题するようにすることはもちろんであるが、一方で、なるべくいろいろなテキストが翻訳できるようにするためにも、1、2年次の学習において身につけられなかったものの、翻訳などの場面で是非知っておく必要のある文法事項を、体系的に洗い出す必要があることが実感された。

また、低学年からの適切な辞書指導が翻訳活動に大きく関わってくることは明確で、本学科全体のカリキュラムの見直しもしなければならない。スロヴェニアの場合は、まだ日本語ースロヴェニア語／スロヴェニア語ー日本語の辞書がないため、その編纂も望まれる。

日本語のさまざまなテキストに触れることを主な課題として掲げたが、取り上げられなかったテキストの種類もまだあると思う。限られた時間内でどのようなテキストを中心に話し合うのが良いかも、今後考えて行かなければいけないことである。

参考文献

- ゲールツ三隅友子(2001)「学習カウンセリングの可能性～語彙マップを使った学習Ⅰ～」『第13回日本語教育連絡会議報告・発表論文集』 第13回日本語教育連絡会議事務局 ウィーン／愛知
- 重盛千香子(1996)「ドイツの学生と新聞を読む～新聞講読の授業から～」『第9回日本語教育連絡会議報告・発表論文集』 第9回日本語教育連絡会議事務局ドイツ社団法人日本語普及センター

語彙

暴走	【ぼうそう】	nekontrolirana vožnja
正面衝突	【しょうめんしょうとつ】	čelno trčenje
死傷	【ししょう】	poškodbe in smrt
胸	【むね】	prsa
同乗	【どうじょう】	peljati se skupaj
重傷	【じゅうしょう】	resne poškodbe
無職	【むしょく】	nezaposlen
奈良署	【ならしよ】	policijska postaja Nara
容疑者	【ようぎしゃ】	osumljenec
業務	【ぎょうむ】	zadeva
過失	【かしつ】	malomarno dejanje
致死傷	【ちししょう】	smrtna posledica
疑い	【うたがい】	sum, vprašanje
逮捕	【たいほ】	aretacija
途中	【とちゅう】	na poti
後方	【こうほう】	zadaj
車線	【しゃせん】	prometni pas
追いかける	【おいかける】	slediti
U ターン		polkrožni obrat
参加者	【さんかしゃ】	udeleženci
救急車	【きゅうきゅうしゃ】	rešilni avto
消防士	【しょうぼうし】	gasilci
無意識	【むいしき】	nezavesten
交差道路	【こうさどうろ】	cestno križišče
交通渋滞	【こうつうじゅうたい】	prometna zavora
酒気帯び運転	【しゅきおびうんてん】	vožnja pod vplivom alkohola
救急	【きゅうきゅう】	prva pomoč

PROBLEMI S STARŠI 両親との問題 [りょうしんとのもんだい]

- * 自由 [じゆう] svoboda
- * 独立 [とくりつ] neodvisen
- * 自立心 [じりつしん] občutek neodvisnosti
- * 大人しい [おとなしい] ubogljiv
- * 確実な [かくじつな] zanesljiv

PROBLEMI S ŠOLO

学校の問題

[がっこうのもんだい]

- * 先生 [せんせい] profesor
- * スクールメイト sošolec
- * 成績 [せいせき] ocena
- * 卒業する [そつぎょうする] diplomirati
- * 試験に落ちる [しけんにおちる] pasti na izpitu
- * 期末試験 [きまつしけん] zaključni izpit na koncu semestra

PROBLEMI
問題 [もんだい]

PROBLEMI V SLUŽBI

仕事の問題 [しごとのもんだい]

- * ボス、親玉 [おやたま] šef
- * 上司 [じょうし] nadrejeni
- * 給料 [きゅうりょう] plača
- * 煩わす [わづらわす] povzročati težave
- * 残業 [ざんぎょう] nadure

LJUBEZENSKE TEŽAVE

恋の悩み [こいのなやみ]

- * 恋 [こい] ljubezen
- * ラブ"アフェア - ljubezensko razmerje
- * 恋愛関係 [れんあいかんけい] ljub. zveza
- * 一目惚れ [ひとめぼれ] ljubezen na prvi pogled
- * ラブレター ljub. pismo
- * 恋物語 [こいものがたり] ljub. zgodba
- * 三角関係 [さんかくかんけい] ljub. trikotnik
- * 恋焦がれる [こいにかれる] biti globoko zaljubljen

PROBLEMI S PRIJATELJI

友人との問題 [ゆうじんとのもんだい]

- * 争う [あらそう] prepirati se
- * やきもち ljubosumnost
- * 妥協 [たきょう] kompromis
- * 寂しさ [さびしさ] osamljenost
- * 対談 [たいだん] dialog
- * 語り明かす [かたりあかす] govoriti celo noč